



Kyo.Prot.N. 8/2021

京都教区洗礼志願者への司教の手紙

洗礼志願者の皆さん、四旬節が始まりました。四旬節の主日には「洗礼志願者のための典礼」が行われます。京都教区のわたしたち信者は、洗礼に向けて準備している洗礼志願者の皆さんのために特別の祈りをささげます。

昨年コロナ禍で、洗礼の準備が思うように進まなかったと思いますが、どうか、わたしたちの祈りを覚えて、この「清めと照らし」の期間を大切に過ごしてください。洗礼志願者の皆さんは、いつくしみの神の無償の愛と計らいによって選ばれています。人間の弱さと傷をいやし、罪と悪の力から解放され、道、真理、生命であるキリストに従う決心を、神が固めてくださるように祈ってください。

京都教区の信徒の皆さんも、コロナ禍で教会に集まることがむずかしい状況が続きますが、信仰によって互いに結ばれている共同体です。ですから、四旬節に行われる洗礼志願者のための典礼に熱心に参加し、洗礼志願者とともに、各教会共同体が新たにされ、過越の神秘にあずかることができるように祈りましょう。そして、回心と信仰と愛をもって生活を改め、洗礼志願者の模範となるように努めましょう。

教皇フランシスコは、今年の灰の水曜日に、「四旬節は、小さな信心業の集積ではない。それは自分の心の向かう先を識別する時」と話され、「自分の人生は神に向かっているのか、『わたし』に向かっているのか」、「主のみ旨にかなうことを喜びとするのか、人々の間で目立ち、称賛され、人気を得るために生きるのか」をわたしたちは自問するべき、と述べられました。

年頭書簡『コロナ時代を生きる信仰』で書いたように、わたしたちはコロナ禍にあっても神と静かに語りあい、この時代に居合わせた意味を問いかけ、嵐の中で主がわたしたちに話しかけておられる大切なことに気づく謙虚さを祈り求めましょう。

京都教区は、毎年復活節の日曜日に、新受洗者と他のキリスト教会から転会された方をお迎えして、「京都教区新信者の集い」を行っています。昨年はコロナ禍で中止になりましたが、今年は、復活節第3主日、4月18日を予定しています。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

2021年2月21日 四旬節第1主日

カトリック京都司教

✠パウロ 大塚喜直